

新たな社会(Society5.0×DX時代)を支える次世代マイスターの育成

マイスター・ハイスクールビジョン

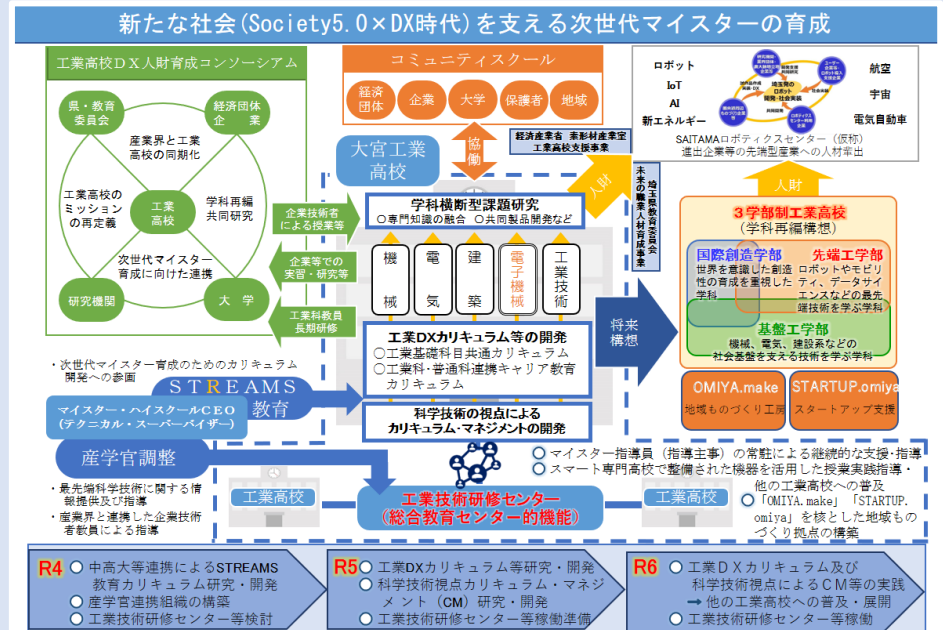
マイスター・ハイスクールCEOのトータルマネジメントのもと、実施校と産業界等（経済団体・企業・研究機関・大学）が連携・協働し、地域産業の持続的な成長を牽引する最先端の専門職業人材（次世代マイスター）を育成するとともに、産業構造の変化に即応できる実践的な指導力を持つ教員を育成し、最新の産業教育施設・設備を最大限に活用した指導実践モデルを創出・普及する。

実施体制等

- 管理機関
 - ・ 埼玉県
 - ・ 一般社団法人埼玉県経営者協会
 - ・ 埼玉県教育委員会
- 意思決定機関
 - ・ マイスター・ハイスクール運営委員会
- 事業実行機関
 - ・ マイスター・ハイスクール事業推進委員会
- 指定校内機関
 - ・ マイスター・ハイスクール校内実行委員会

事業の目標

- ① 工業DXカリキュラム等の開発
- ② 科学技術の視点によるCMの開発
- ③ 学科横断型課題研究の実践
- ④ 育成したい(されたい)資質・能力の共有
- ⑤ 工業技術研修センターの構築
- ⑥ 拠点となる実施校の将来構想の策定



新たな社会(Society5.0×DX時代)を支える次世代マイスターの育成

令和4年度は「事業の目標」の達成に向けて以下2点を重視し取り組んだ

- 産業実務家教員との協働による授業等を積極的に実施する
- これまでの取組を「マイスター・ハイスクール事業」の視点で見つめ直し再構築する

「事業の目標」を達成するために取り組んだ主な内容

○ 産業実務家教員との協働による授業

- **SDGs** 埼玉県における高温の出現状況の統計的解析およびモニタリング技術に関する研究
- 「知的財産権」を学ぶ
- 「3Dプリンター」の解剖
- 「工程管理・品質管理」を学ぶ
- 「5軸マシニングセンター」を学ぶ
- 「RPA（Robotics Process Automation）」を学ぶ
- ドラム缶を再利用したピザ窯づくり

○ 工業技術研修センター機能（教職員対象「先端技術研修会」）

- 5軸マシニングセンターとCAD/CAMに関する先端技術研修会
- BIM（Building Information Modeling）に関する先端技術研修会

○ STREAMS教育プログラム及び工業DXカリキュラム等の開発

[STREAMS教育プログラム]

- 中高大連携STREAMS教育連携授業
- 中学生対象「3Dプリンターを使ってみよう！」
- 小学生対象「LEDイルミネーションをつくろう！」
- 小中学生対象「ロボットを動かしてみよう！」

[工業DXカリキュラム等]

- **SDGs** 教科横断型授業（理科・家庭科・工業科・国語）
- **SDGs** 国語科による情報リテラシー授業
- 学科横断連携授業（電子機械科×建築科）
- 生徒と保護者のための「キャリアデザインアゴラ」

新たな社会(Society5.0×DX時代)を支える次世代マイスターの育成

令和4年度の成果と課題

● 産業実務家教員との協働による授業により…

■ 授業を受ける生徒の「授業態度」「目の輝き」が違う

- ・本校教師曰く 「自分だけの授業と生徒の聴く姿勢が違う」
- ・実務家教員曰く 「生徒の目が輝いている」「取組姿勢が前向きである」
- ・生徒アンケート 「今の学びが、将来につながっていることを知ることができ有意義な授業だった」

■ 事業の中核でもある産業実務家教員との協働授業は良好なスタート

- ・ドローンやロボットなどの先端企業、DX関連企業、その他先進的な取組をしている企業をはじめ、多くの企業の協力・支援のもと、産業実務家教員と本校教員との協働授業が本格的にスタートし、関係者からの評価も高い。
- ・今後、企業の厚意に甘えるだけでなく、Win-Winの関係を築けるように、努力を惜しまず、末長く良好な関係を構築していく

● 「マイスター・ハイスクール事業」の視点で見つめ直し再構築するために…

■ 学習指導要領に忠実な授業にチャレンジ

- ・学習指導要領では、「あらゆる教科等に共通した学習の基盤となる資質・能力や、教科等の学習を通じて身に付けた力を統合的に活用して現代的な諸課題に対応していくための資質・能力を、教育課程全体を見渡して育ていくことが重要」と明記されている。その実現を目指し、教科等横断的な授業に積極的に取り組んだ。

■ 生徒の変容を見取ることができる授業

- ・生徒アンケート 「いつもの授業より内容を深く考えながら勉強できた」「複数の教科が連携することで、関係性を多く知ることができ、脳が素早く動くようになる」「様々な観点から物事を見ることができるようになった」「普段の授業より知識が深まり、仲間と積極的に交流できた」「習ったことがどのように応用されているか分かった」「広範囲で考えることができるため、1つのことだけでなく周りのことも考えることができる」
- ・変化の激しい社会の中で主体的に学んで必要な情報を判断し、よりよい人生や社会の在り方を考え、多様な人々と協働しながら問題を発見し解決していくために必要な力（育成すべき資質・能力）について、検討を進め、保護者や採用企業の人事担当者、他校関係者など多くの関係者と意見交換しつつ順次ブラッシュアップしていく